

自動車メーカー提供記事（日産自動車株式会社）

■リサイクルしやすいクルマの設計を推進

▼「ノート」における主なリサイクル対象部品

再生しやすい樹脂を使用した部品

再生利用しやすい部品



再利用または再生されている部品

樹脂として再生できる部品

日産は、リサイクルしやすいクルマを設計し、資源を最大限に有効利用することで効果的な資源の循環を促進する取り組みを行っています。

2001年度に発売した「マーチ」をはじめ、2005年以降の新型車すべてにおいて、95%以上の部品をリサイクルすることが可能となっています。

■解体情報の提供

貴重な資源である銅や鉄などの資源の有効活用とリサイクル推進のため、解体事業者の方々を中心に「使用済み自動車の銅含有部品樹脂部品取り外しのための情報提供」を作成しています。

また、ART[※]メンバー会社である国内乗用車メーカー5社（スズキ、日産自動車、富士重工業、マツダ、三菱自動車工業）と共同でハーネスリサイクル設計ガイドラインを作成しました。

詳細はARTのホームページをご覧ください。

<http://www.asrrt.jp/service/elv/index.html>

[※] ART：自動車破碎残さリサイクル促進チーム（Automobile shredder residue Recycling promotion Team、呼称：エイ・アール・ティー）

▼使用済み自動車の銅含有部品

樹脂部品取り外しのための情報提供

▼ハーネスリサイクル設計ガイドライン

